

<その他、取組に特徴のある事例>

○集落ぐるみの農地保全と営農組織の育成

1. 集落協定の概要

市町村・協定名					岐阜県揖斐郡揖斐川町日坂					
協 定 面 積 18.3ha		田 (100%)		畑		草地		採草放牧地		
		水稻								
交 付 金 額 391万円		個人配分							0%	
		共同取組活動 (100%)		農地管理費				25%		
				鳥獣害対策費				13%		
				共同利用機械購入費				13%		
				積立費				41%		
				役員報酬・その他				8%		
協 定 参 加 者		農業者47人、非農業者12人、非対象農家2人、学校1(西濃学園)						開始：平成12年度		

2. 取組に至る経緯

日坂地区は、急峻な山々に囲まれた地形で主に水稻を中心とした営農に取り組んできたが、生産者の高齢化、野生鳥獣による農作物被害の増加等から、農業生産意欲の減退、耕作放棄地の増加が危惧されていたことから、第1期対策から事業に取り組み、野生鳥獣被害軽減対策、担い手育成等に取り組んできた。

平成22年度から開始した第3期対策では、地区内の4集落協定を合併し、地区住民が全員参加して集落協定を締結し、集落ぐるみの農地の保全、営農組織の育成等に積極的に取り組むこととした。

3. 取組の内容

当地域で問題となっていた野生鳥獣による農作物被害に対して、集落協定の合併を機に、集落全体で被害軽減を図るため、全てのほ場を囲うよう防護柵の設置を進めており、集落ぐるみの農地保全に努めている。

農地保全の一環として、地元小中学生による農業体験を行い、農業者と児童生徒のふれあいの場を設け、子供世代へ農業への理解を深める良い機会となっている。

また、集落全体の農地の保全、維持を目的とした、営農組織の育成を進め、平成23年3月に営農組織「揖斐高原米生産組合」を設立した。今後、農作業の受託を進めるとともに、平成26年までに法人化を目指している。



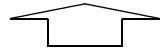
【協定参加者の話し合い】



【地元小中学生の田植え体験】

[集落の将来像]

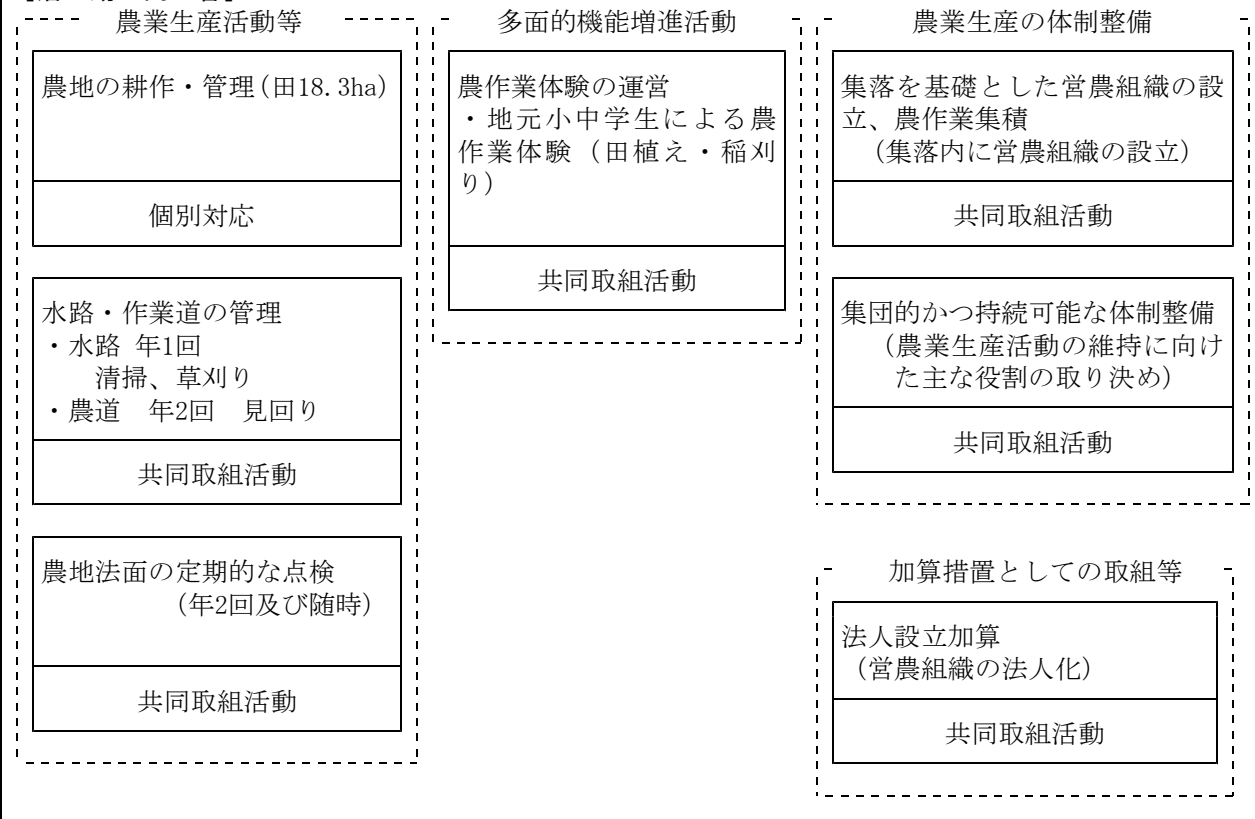
- 集落全体で鳥獣害被害防止対策に取り組む。
- 子供世代へ農業への理解を深めるため、地元小中学生による田植え、稲刈りを継続実施する。
- 営農組合を法人化し、利用権設定等を行い農地の集積を進める。



[将来像を実現するための活動目標]

- 共同取組による草刈り等（農道：年2回、水路：年1回）
- 田植え、稲作り体験による農地保全学習
- 獣害防止柵の設置
- 営農組織の設立、農作業集積

[活 動 内 容]



4. 今後の課題等

第3期対策から集落全体で協定を合併したことにより、地域住民の話し合いの機会が増え、繋がりができた。今後も当地域で問題になっている鳥獣害対策に引き続き集落全体で取り組むこととし、地元小中学生による農作業体験を継続し、広い世代へ農業理解を深め、集落ぐるみで農地保全を図っていく。

平成22年3月に設立した営農組織への農作業集積を進めるとともに、平成26年度までの法人化を目指し、組織の体制強化と地域の農地保全に努める。

[第2期対策の主な成果]

- 獣害防止柵の設置を積極的に行い、農作物への被害の減少、農地保全への意識が高まった。
- 地元小中学生との農作業体験による活動は、児童生徒と農業者がふれあう場となっている。
- 担い手（個人）へ農作業の受委託契約締結（10,994㎡）